

| 重点目標 (めざす姿) | 具体的方策 | 主担当 | 【評価指標】 ＜成果指標＞＜努力指標＞ ＜満足度指標＞ | 【評価の根拠】 達成度判断基準 | 取り組みの成果 及び課題への対策 | 評価 |
|----------------|--------------|------|---|---|---|----|
| 1 | 組織的な学校運営 | 教頭 | ＜成果指標＞ 主任層のリーダーシップのもと、各分掌と学年が縦横の連携を図り、教員が資質能力を高め、組織的な学校づくりを行う。 | ＜教職員アンケート1＞ 学校経営ビジョンを理解し、必要な情報を共有し連携を図り、一人一人が資質能力を高めて組織としての高まりを実感しているか。 | ＜教職員アンケート1＞100% 学校経営ビジョンの具現化に向け、主任層のリーダーシップのもと、各分掌や学年としての組織的な連携や実践が十分に図られている。今後もさらなる連携を図り、組織的な学校づくりを行っていく。 | A |
| | | 教頭 | ＜努力指標＞ 見通しを持ち業務の改善・効率化を図り、勤務時間の短縮に努め、月2回定時退校している。 | ＜教職員アンケート2,3＞ 常に課題意識を持ち、周囲に伝えながらよりよい学校づくりに参画し、見通しを持ち効率的に業務を行い、勤務時間を短縮できたか。 | ＜教職員アンケート2＞100% ＜教職員アンケート3＞60% 学校運営参画の意識はとて高い。また、定時退校への意識は前年度後期に比べると18P上昇しており、意識が高まっていると思われるが、業務改善に関しては、まだまだ改善の余地があり、業務の平準化など進めていきたい。 | D |
| | | 生徒指導 | ＜努力指標＞ 情報交換を密に行い、各主任や担任・学年会が縦横の関係でいじめ・不登校に対し組織的に対応している。 | ＜教職員アンケート4＞ 情報の共有化が密にできており、いじめ・不登校傾向にある生徒に対し、未然防止や早期の適切な対応ができたか。 ＜教職員アンケート4＞_ % | ＜教職員アンケート4＞60% 年度初めの引継ぎの部分や、異学年間での情報の共有が遅れてしまうことがあった。これまでの取り組みを引き続き行うことに加えて、定期的に情報伝達の方法を確認すること、相談の会や生徒指導の会、学年会であった情報について必ず共有することを毎回確認する。 | D |
| 2 | 確かな学力の育成(知) | 研究 | ＜努力指標＞ 各教科および総合的な学習の時間で、ICT機器を活用して生徒の思考を促す工夫を行い、まとめと振り返りを充実させ、主体的・対話的で深い学びを実現する。 | ＜教職員アンケート5,6,14,15＞ ＜生徒アンケート16,19,34,35＞ ＜保護者アンケート11,12＞ 生徒自身に、思考・判断し表現させることを積極的に行っているか。GIGAスクール構想を意識した取り組みができていますか。生徒が学びの高まりを実感しているか。 | ＜教職員アンケート5＞85%＜6＞100%＜14＞86%＜15＞96% ＜生徒アンケート16＞94%＜19＞96%＜34＞98%＜35＞91% ＜保護者アンケート11＞78%＜12＞83% 教職員と生徒のアンケート結果から、まとめと振り返りを充実させ、主体的・対話的で深い学びを実現できるように取り組んでいることがよくわかるアンケート結果となった。引き続き、GIGAスクール構想を意識した取り組みのもと、「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業づくりを展開していく。 | C |
| | | 研究 | ＜満足度指標＞ 「授業の辰人スタイル」を意識した授業を行い、場面を逃さず褒め、生徒全員が「わかる・できる」授業をめざす。 | ＜教職員アンケート7＞ ＜生徒アンケート14,15,18＞ 自ら学ぶ積極的な態度が身につく、授業がわかり、できるようになった実感があるか。 | ＜教職員アンケート7＞96% ＜生徒アンケート14＞94%＜15＞90%＜18＞93% 「授業の辰人スタイル」を意識しているアンケート結果である。これからも意識して継続して取り組みたい。また、さらなる授業改善を行い、「わかる・できる」を実感できるようにしていく。 | A |
| | | 教務 | ＜成果指標＞ 学力向上ロードマップを活用し、基礎的知識・技能や思考力・判断力・表現力等の向上に努めている。 | ＜教職員アンケート8＞ PDCAサイクルを実施し、学力の検証・改善がなされ、様々な面で学力の向上に表れているか。 | ＜教職員アンケート8＞93% 全国及び県学力調査ともに結果は良好であった。結果の分析を行い、教職員全体で学力の検証と授業改善を重ねてきた。結果公表後は新たに分析を行い、教職員全体で本校の課題について共有する。ICTの効果的な活用を軸に新たな授業づくりを展開し、本校生徒の強みを伸ばした上で求められている力を伸ばしていく。 | A |
| 3 | 豊かな心の育成(徳) | 生徒指導 | ＜満足度指標＞ 生徒指導の三つの機能を意識し、学習集団、生活集団としての機能を高める学級づくりに努めている。 | ＜教職員アンケート10＞ ＜生徒アンケート29＞ Q-Uアンケート結果や生徒面談を活かし、親和的な学級づくりに努めているか。生徒の自己肯定感が高まっているか。 | ＜教職員アンケート10＞100% ＜生徒アンケート29＞90% 各学年、各クラスともアンケートや面談をもとに親和的な学年学級づくりや、各個人に対しても非常に丁寧に指導に当たっている。各個人においても、各種行事における役割や、クラス内の一人一人役など役割を与えられる場面が多くあり、そこで自分の役割を果たそうと動ける状況を今後もつくりたい。 | A |
| | | 生徒指導 | ＜満足度指標＞ 生徒会活動やボランティア活動を通して自治・自浄の能力を高めるとともに、他のために役立つ自己を実感させる。 | ＜生徒アンケート26＞ 生徒会活動やボランティア活動が活発で、自己有用感が高まっているか。 | ＜生徒アンケート26＞53% 「今年は中止されているものが多いが、できるだけ参加したい」と答えた生徒も22%いた。行事では生徒が前に出る機会が増えたり、委員会単位で生徒から発信するものも以前より増えている。生徒会の提案から各委員会が動くこの形態を継続したい。また、キャップ回収やボランティアチャレンジにも多くの協力を得ることができたので、そのような呼びかけも続けていく。 | D |
| 4 | 健やかな心身の育成(体) | 生徒指導 | ＜満足度指標＞ 教育相談体制を充実させ、生徒の実態を把握・共有し、問題の解消に努めている。 | ＜保護者アンケート5＞ 学校は、不安を持っている生徒や困っている生徒の実態を把握し、問題の解消に努めているか。 | ＜保護者アンケート5＞78% 教育相談の会での情報交換や支援体制の確認、相談室の整備など居場所の確保など問題への対応はできている。SCの紹介をはじめ、困り感のある生徒に対する積極的な生徒指導をおこなう。 | C |
| | | 生徒指導 | ＜満足度指標＞ 家庭と連携してインターネットのルールを徹底するとともに、起きる時間、寝る時間、学習時間を確保するなど望ましい生活習慣の確立を図る。 | ＜保護者アンケート6,8,9＞ ネットトラブルやネット依存防止のために、フィルタリングやルール作りを行っているか。 ＜生徒アンケート22＞ ＜教職員アンケート12＞ 時間の3点確保を行い、望ましい生活習慣が確立できたか。 | ＜保護者アンケート6＞81%＜8＞85%＜9＞81% ＜生徒アンケート22＞72% ＜教職員アンケート12＞93% 家庭への呼びかけも含め、学校での取り組みは引き続き行いたい。1学期の後半にはインターネットに関する学校での取り組みに家庭と連携を図る取り組みを行った。GIGAスクール構想として、学校と家庭が連携して取り組んでいけるように、家庭での使用ルール等も含めて、このような連携活動を増やしていく。 | C |
| | | 保健文化 | ＜成果指標＞ 体育的活動・部活動を中心に、仲間と協力しながら、体力を高めるとともに、自分で設定した目標に向かって努力する。 | ＜教職員アンケート11＞ 生徒が目標達成に向けて努力しようとする姿は向上しているか。 | ＜教職員アンケート11＞96% 部活動や体育的行事において、全職員が協力的で、それぞれは意識して取り組んでいる。残りの4%は文化部や文化活動を中心に関わる職員と推測される。コロナ禍以降、体力低下は大きな課題であり、様々なアプローチによって体力向上策を図る。 | A |
| 5 | 家庭や地域との連携 | 教務 | ＜努力指標＞ 地域のヒト・モノ・コトを活用し、地域や自分の在り方を考え、社会貢献できる生徒づくりに努めている。 | ＜教職員アンケート13＞ 教科横断的な視点を持ち、地域リソースを生かした教育活動が行えたか。 ＜生徒アンケート13＞ 地域とのつながりを考え、地域の方や先生から学ぶことができたか。 | ＜教職員アンケート13＞92% ＜生徒アンケート13＞95% 今年度本校は「能美市SDGsパートナーシップ」を提携した。総合的な学習の時間や各教科を中心に積極的に17の目標について考えていく。コロナ禍で制限がある中ではあるが、地域で働く方からお話を聞く会やGCPを含め、能美市や辰口地区について考える機会を設けていく。今後も「課題研究」として地域リソースを生かした教育活動を推進する。 | A |
| | | 教頭 | ＜満足度指標＞ 学校と家庭、地域の連携力が高まり、良い成果が出てきている。 | ＜保護者アンケート7,10＞ 学校と家庭、地域が連携して子どもを育てていると感じているか。 | ＜保護者アンケート7＞86% ＜保護者アンケート10＞75% 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保護者が学校へ来る機会がここ2年は減少していたが、4月には授業参観を実施した。また、5月には辰中祭を行い、一部の保護者ではあるが参観してもらった機会を設定した。今後も状況を見ながら直接学校へ来てもらう機会を設定しつつ、ホームページや各種たよりを通して学校の様子を知らせる活動を続けていきたい。地域を含めた3者の協力体制をさらに図っていく。 | C |

◆【評価の根拠】は生徒・保護者・教職員アンケートによって、≪肯定的な意見がA：90%、B：80%、C：70%、D：70%未満≫として評価する。

◆評価は＜1：そう思う、2：どちらかと言えばそう思う、3：どちらかと言えばそう思わない、4：そう思わない＞の4つで選択する。

◆各項目で評価をする際に、2つ以上のアンケートを必要とする場合は、上記の意見で低い方の結果を評価する。